

# 環境だより



環境課 66 1122

寒さの厳しいこの時期、蒲郡の海辺は冬のお客さんたちで、にぎやかになります。そう、お客さんたちとは、冬鳥としてやって来る多くのカモ類です。

これらのカモ類は、夏にシベリアなどで子育てし、冬になると南の暖かい地方に移動します。三河湾は内海のため、波が静かで休みやすく、また、貝などのエサも豊富なため、多くのカモ類が飛来します。市内では、星越海岸、博物館前、北浜公園・春日浦公園前の海岸、形原町ブルーブリッジ周辺などで、10月中旬ごろから観察できます。

## 冬のお客さんたち



野鳥の飛来地では、ごみを捨てたり、大きな音を立てたりせず、鳥たちを驚かさないようにそっと観察してあげてください。



博物館前の港で羽を休めるカモたち

蒲郡の冬の海辺では、カモ類のほかにユリカモメ、セグロカモメなども観察できます。これらの野鳥が毎年、蒲郡を訪れるのは、すこし易い自然があるからです。蒲郡が今後とも野鳥の楽園であるように、皆さんで市内の貴重な自然を守っていききたいものですね。

## 消防最前線

Journal of Fire Department 119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

新年あけましておめでとうございます。さて、消防が新春を踏み出すにあたり、欠かせないのが「出初式」です。出初式は、各地でさまざまな趣向を凝らしながら開催されています。蒲郡市でも観客を魅了する一斉放水や、消防音楽隊の伴奏のもとでの分列行進、そして、チビッコや市民によるさまざまなアトラクションが行われます。

では、この出初式、一体いつから始まったのでしょうか。それは遠く、約350年前までさかのぼります。千657年、江戸（今の東京）で大きな火事があり、江戸の市民は大変落ち込んでいました。2年後、そんな江戸市民に大きな希望と

### 出初式

信頼を与えるため、時の老中、稲葉伊予守正則が上野東照宮前で出初めを行ったことが初めとされています。それ以来、消防の心意気を示す恒例行事となり、現在の形へと受け継がれてきました。

蒲郡市消防でも、心意気を皆さんに披露するため、12月に入ると勤務の合間をぬって出初式の準備に入ります。入念な準備をして迎える出初式ですが、一番気掛かりなのは当日の天候です。こればかりは、何ともできませんからね。しかし、今まで不思議と雨が降ったことはないのです。いくら前日まで雨が続きたり、雲行きが怪しくともです。これは、昔から代々伝えられる蒲郡消防独特のジンクス「大きな行事の日は必ず天気になる」を信じている消防士の気持ちに通じるからでしょう。

今度の出初式も、きつと、このジンクスによって晴れます。皆さん、蒲郡消防の心意気とさまざまなアトラクションを見に、ぜひ、会場に足をお運びください。